

平成29年度 笑顔輝く地域づくり支援事業 実績報告

番号	団 体 名
1	浦幌の自然を楽しむ会
2	子育てサークルにじいろスイッチ
3	Given 浦幌上映実行委員会
4	うらほろ和ごころ体験塾
5	オープンガクうらほろ制作委員会
6	上浦幌子ども夏祭り実行委員会
7	冬のイベント実行委員会

※内容は、各団体の報告書をそのまま記載することを原則に、一部要約させていただいています。

	団 体 名	浦幌の自然を楽しむ会
	事業名称	うらほろ魅力〔自然〕発信事業
1	事業の内容	<p>4月12日 交流会 会員5人と持田学芸員が参加 4月17日 ニホンザリガニ 昆布刈石川支流で生息を確認 4月25日 かごによる採捕許可なる 十勝総合振興局水産課より 5月13日～6月11日 「豊北の花」写真展 91種96点 博物館ロビー 7月11・12日 ウチダザリガニバスターズのチラシ 町内の小中学校へ配布依頼 7月15日 ハイコウリントンポポの駆除 会員4人参加 町立病院の花壇をほぼ駆除 7月30日 ウチダザリガニバスターズ実施 オベトン川 73匹駆除 浦幌小9人、保護者5人、会員7人 北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク2人、持田学芸員 9月3日 酪農学園大学野生動物保全技術実習 会員3人、持田学芸員 ウチダザリガニ捕獲体験指導・計測指導・浦幌の状況説明 オベトン川 53匹駆除 ニホンザリガニの生育調査 オベトン川支流 29匹 放流 9月8日 浦幌小学校2年生のザリガニ学習 児童36人・教師・持田学芸員 教室でウチダザリガニ、ニホンザリガニを説明 オベトン川 ウチダザリガニ47匹捕獲、円子が処分 10月20日 ウチダザリガニの駆除終了 駆除回数12回 駆除総数 オス78匹、メス90匹、不明124匹 計292匹 3月14日 交流会 会員5人</p>
	支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の額 117,582円（補助事業に要した経費：129,853円） ・広報紙への掲載 ・町有施設の利用
	事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <hr/> <p>■成果（上記の理由等） ウチダザリガニの駆除では、オベトン川で集中的に駆除できた。 たも網と中長靴の追加整備で捕獲実績が大きく伸びた。 2回目の開催となったウチダザリガニバスターズでは、子どもたちが外来種、生態系などに理解を深めることができた。次年度も実施したい。 ニホンザリガニの生育調査は、2ヵ所で生息を確認できた。 「豊北の花」写真展は閲覧者が146人。閲覧者からは自分の地域の写真展を検討したいなど、町の自然に対する理解が深まった。 浦幌町立博物館紀要第18号に「浦幌のウチダザリガニ駆除（2017）」を寄稿。 ハイコウリントンポポは、町立診療所の花壇でほぼ壊滅できた。</p> <hr/> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 昨年に続けて上陸した台風の影響が残っていて、浦幌川での駆除がほとんど出来なかった。</p>

2	団体名	子育てサークルにじいろスイッチ
	事業名称	子育てサークルにじいろスイッチサークル活動
	事業の内容	<p>●講座：6月12日『救命救急講習』7月31日『みんなで楽しくダンスストレッチ』9月4日『防災を学ぼう』11月13日『親子でキッズTouch!』</p> <p>●子ども服無料リサイクル：年2回（1回目こどもまつり7/9・2回目アイフェスティ3/4）</p> <p>●みんなでスポーツデイ：8/25・9/22・10/27・11/17・12/15・1/19・2/23・3/16</p> <p>上記の内容で、親子で気軽に参加できる講座を開催し、知識や技術の向上や心身ともにリフレッシュを目的に活動致しました。</p>
	支援の内容	<p>・補助金の額 46,372円（補助事業に要した経費：46,372円）</p> <p>・町有施設の利用 ・町広報誌による周知</p>
	事業評価等	<p>■事業評価 C（計画通り実施することができず、予想していた程度の成果が得られなかった）</p> <p>■成果（上記の理由等） 今年度は、講師の方との日程調整が出来ず、講座開催回数が少なくなりました。開催することの出来た講座に関しましては、参加された方からは好評をいただき、また参加したいとの声もいただきました。子供服無料リサイクルの活動やみんなでスポーツデイなど新しい事業も始めましたが、皆さんの協力もあり活動も順調に進捗しております。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 毎年の事ではありますが、講師の方との日程調整が難しいことと、見守り託児スタッフの確保が難しかったです。今後、講師の方の選定や見守り託児スタッフの確保が課題です。</p>

3	団体名	Given 浦幌上映実行委員会
	事業名称	映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』浦幌上映会
	事業の内容	映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』を沢山の方に観ていただき、生きる意味や、身近にある幸せ、本当の幸せとは何かに気付いて頂く。自分自身を見つめ直すことで、いま、ここ、の時間が変化し明日への希望や生きる喜びにつながる。自分を大切に笑顔で生活が送れるようになる。また、様々な難病を患った家族の生活の中から、家族の絆、人々とのつながりも再確認していただけることを期待して上映会を行った。
	支援の内容	<p>・補助金の額 162,080円（補助事業に要した経費：197,980円）</p> <p>・広報紙への掲載 ・町有施設の利用 ・後援名義の使用</p>
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 映画上映は予定通りに実施できたが、予定していた人数には大幅に届かなかった。しかし、鑑賞いただいた方から「良いものを見せてもらえてよかった」「もっとたくさんの人に知ってもらいたいね」というお言葉をかけていただけたことは、とても良かったと感じる。</p> <p>■事業を実施するなかで難しかったこと等（反省・問題点） 集客の難しさを痛感した。ポスターやチラシだけでは映画の内容などは伝わりにくく、口コミでの宣伝が重要であると感じた、また、上映スタイルの告知も不十分だった。</p>

4	団体名	うらほろ和ごころ体験塾
	事業名称	うらほろ和ごころ体験塾事業
	事業の内容	6月3日 宮大工さんの匠の技を学ぼう・よもぎ餅つき体験 浦幌神社社務所に於いて 55名参加 6月17日 浦幌町教育の日実践交流会開催に伴う後援 7月23日 伝統芸能の鑑賞・流しそうめん体験 浦幌神社に於いて 99名参加 11月25日 そば打ち体験 コスミックホールに於いて 45名参加 1月13日 書初め体験・百人一首・かるた遊び 中央公民館に於いて 41名参加 3月24日 家族で防災について学ぼう 中央公民館に於いて 60名参加 3月30日 反省会 浦幌神社に於いて 役員3名参加
	支援の内容	・補助金の額 200,000円(補助事業に要した経費:285,400円)
事業評価等	<p>■事業評価 A(計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた)</p> <p>■成果(上記の理由等) 年齢を問わず楽しめる体験型の事業を計画することで、幅広く会員を募り多くの方に参加いただき、どれも有意義な事業となった。中でも本年度第1回、宮大工さんをお招きした事業では、参加者も実際の大工道具や木材を使って宮大工体験をし、貴重な体験となった。防災学習では、博物館のご協力により本年も有意義な学習ができた。浦幌町の防災用炊き出し道具をお借りし、防災用備蓄食材をご提供いただき、また、浦幌町議会もご参加のもと、いざという時のシミュレーションを町議のみなさまにも体験いただけた。浦幌町全体の防災対策への関心を高めることができた。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等(反省・問題点) 例年、会員や事業への参加者が固定化傾向にある。より多くの町民に参加いただけるよう、事業の周知方法に新聞折込みだけでなく、SNSなどの活用を検討する。</p>	

5	団体名	オープンガクうらほろ制作委員会
	事業名称	オープンガク堂 cafe2017@うらほろ事業
	事業の内容	近代名作児童文学作品の語り劇とその物語に合わせたクラシック音楽の生演奏を行います。より体験を印象付け、自分ごととして感じさせるために、ただ見て聞くだけではなく、「聴く」「想像する」「考える」「語らう」「創造する」「伝える」というプロセスを通じ、子ども達のココロとアタマ（創造性、知的探究心、思考力、言語力など）を目一杯刺激する、いわばワークショップ型（体験参加型）のアートライブ。
	支援の内容	・補助金の額 200,000円（補助事業に要した経費：1,105,154円）
	事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <p>①芸術表現体験機会の拡充 昨年は教育委員会主催事業として児童生徒が対象だったのに対し、今年は広く一般向けに開催することができ、多世代が一緒に楽しめる身近な芸術表現体験機会を創出することができました。 アンケートでは、97%以上の方々がまた参加したいと答えていることから、参加者の高い満足度と次回への期待感がうかがえます。</p> <p>②地元組織や住民との連携と協働 町役場や教育委員会をはじめ、商工会や企業からも事業に対する深い理解と賛同、多大なる協力を賜り、特性オヤツは、地元菓子店と地元クラフト作家と協働し、ここだけの「特別な一品」を製作することができました。</p> <p>③参加者数と参加者層の拡大 集客動員が容易ではないと言われる有料芸術文化イベントに於いて、町内外から5歳から75歳までの幅広い世代で107名（15歳未満8名/15歳以上99名）の方々に参加していただくことができました。 アンケートでは、85%以上の方々が家族や友達や仲間、パートナーといった身近な人と参加したいと答えていることから、一度体験すると誰かを誘って参加したくなる可能性は高く、今後の事業の更なる拡大と発展が期待されます。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <p>①広報宣伝活動の見直し 特別ご案内状を作成し昨年参加した小中学校の生徒さんへ配布したものの、子ども達（小・中学生）の参加が少なく、小・中学生や若者層の参加をもっと促す必要があると考えられます。</p> <p>②多世代でフットワークの軽い組織作り 製作員会のメンバーに、もっと若手（20代～30代）に参画してもらう必要があると考えられます。</p>

6	団体名	上浦幌子ども夏祭り実行委員会
	事業名称	上浦幌子ども夏祭り
	事業の内容	<p>上浦幌地域の子どもたちが「普段できない楽しい体験」ができるイベントの開催を目指し、地域コミュニティの活性化及び親子のコミュニケーションの醸成を図った。</p> <p>イベント開催に伴い、上浦幌地域住民が中心となり実行委員会を組織し、地域コミュニティや地域子ども会の活性化を図った。イベント開催時は、子どもたちにジュースやお菓子などの提供やどん菓子作り体験コーナー、射的、ヨーヨーすくい、打上げ花火などのアトラクション等を準備し、親子のコミュニケーションや地域住民とのふれ合いを図ることができた。</p>
	支援の内容	・補助金の額 120,000円（補助事業に要した経費：161,641円）
	事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 実行委員会を組織し、日ごろ子どもたちと直接交流のない地域住民にも企画運営に参加していただくことで、地域コミュニティや地域子ども会の活性化を図ることができた。子どもたちのために「普段できない楽しい体験」ができるイベント実施となり、夏休みの貴重な思い出となったと思う。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 当日の天候が、天気予報から悪いことが想定され、室内での実施も視野に入れながらの準備が大変であった。また、心配は杞憂に終わったが、雨天時の打上げ花火の実施も判断も難しかった。</p>

	団体名	冬のイベント実行委員会
	事業名称	しゃっこいフェス実施事業
7	事業の内容	<p>町の若者を中心に「冬のイベント実行委員会」を立ち上げ、1月27、28日に「しゃっこいフェス2018」を開催した。過去3年間の成果から、今回も再開催の声が多く集まり、第4回目となるイベントを開催した。</p> <p>「美味しい、楽しい家族の時間」をコンセプトに、家族で過ごした冬の思い出になるようなイベントを行いたいという思いから、後援には浦幌町、浦幌学園小中一貫CS委員会、上浦幌学園小中一貫CS委員会、町内の産業団体、他にもたくさんの団体、個人の皆様に協力いただいた。</p> <p>町内出身高校生有志（浦幌部）の皆さんによるイベントの企画・出店、浦幌学園CS委員会による宝探しなど、世代を超えてイベントに携わっていただき、子どもたちを楽しんでもらった。また、東京から花まる学習会をお呼びし、「サムライ合戦」を行った。昨年参加者が多く集まり、子どもから大人まで楽しんでもらえるイベントとなった。</p> <p>今回は前夜祭を含めた2日開催とした。1日目の夜は、上浦幌中学校において、上浦幌CS委員会の協力で子どもたちが製作した「上浦幌キャンドルロード」と打上げ花火を開催し、上浦幌で住む方々と賑わいをつくった。浦幌町全体でイベントが楽しめるよう企画した。</p>
	支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の額 136,862円（補助事業に要した経費：566,862円） ・後援名義の使用、各種備品の借用、公共施設の使用 ・イベント会場への雪の運搬・整地、広告宣伝用のチラシ印刷など
	事業評価等	<p>■事業評価</p> <p>B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのお客さんがイベントを訪れてくれた。 ・町内在住の若者同士の交流をすることができた。 ・子ども達がとても楽しそうにイベントに参加してくれた。 ・来年も開催して欲しいとの声が多かった。 ・実行委員会だけでなく、様々な企業や団体にご協力いただくことができた。 <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラポロ広場の一貫で子どもたちと作成した氷のお面だが、当日は氷が曇っていてお面が見えづらくなってしまっていた。 ・昨年と変更点のあったキャンドルロードの作成や前夜祭の会場変更など、前年と違う点の周知を意識しておかなければ、協力いただく町内の人を混乱させる可能性があると感じた。 ・実行委員の人数が減ってきている。町内の若者への声かけを年間通して行っていきたい。